

1・2 部	1 年次	通 年	現代の国語	履修形態	全員履修
				履修単位	2
科目の目標				教科書	2東書現国701： 新編現代の国語
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				副教材等	常用漢字ダブルクリア 四訂版(尚文出版)
				履修条件	特になし

授業計画(学習内容、単元の目標・ねらい)					
期	月	学習内容(単元)	単元の目標・ねらい		
前①	4 ・ 5	自己を見つめる ・「こそそめスープ」 ・「ルシボシカミキリの青」	知識・技能	話し言葉と書き言葉の特色や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用する。	
			思考・判断・表現	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予測して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。	
			主体的に学習に取り組む態度	生きる原点としての自己を理解するため、主体的に学習に取り組む。	
前②	6 ・ 7 ・ 9	他者に出会う ・「水の東西」 言葉と生活 ・「分かり易い説明をしよう」	知識・技能	主張と論拠など、情報と情報との関係について理解する。	
			思考・判断・表現	目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や筆者の意図を解釈したりするとともに、自分の考えを深める。	
			主体的に学習に取り組む態度	評論を読んで筆者の意見を理解するため、主体的に学習に取り組む。	
後①	10 ・ 11	視野を広げる ・「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」 言葉と生活 ・「相手に応じた言葉の選び方」	知識・技能	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、情報を適切に使用する。	
			思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。	
			主体的に学習に取り組む態度	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、筆者の思いを理解し、今までの学習を生かして発表しようとする。	
後②	12 ・ 1 ・ 2	社会と関わる ・「鍋洗いの日々」 ・「森で染める人」	知識・技能	論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。	
			思考・判断・表現	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。	
			主体的に学習に取り組む態度	働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考えるため、主体的に学習に取り組む。	

評価規準(「おおむね満足できる(B)」と判断できる状況)					
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価のポイント	前①	話し言葉と書き言葉の特色を踏まえ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを使って表現できる。	自分の考えが的確に伝わるよう、相手の反応を予測して話の構成や展開を工夫できる。	自己を理解するため、主体的に学習に取り組んでいる。	
	前②	主張と論拠との関係について理解している。	目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけ、内容や筆者の考えを解釈し、自分の考えを表現できる。	評論を読んで筆者の意見を理解するため、主体的に学習に取り組んでいる。	
	後①	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使うことができる。	話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行、結論の出し方などを工夫できる。	新鮮な着眼や発想に触れて、視野を深めるため、主体的な学習に取り組んでいる。	
	後②	論点を共有し、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や結論の出し方を工夫している。	目的や場に応じて、様々な観点から情報を整理して、伝え合う内容を検討できる。	働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考えるため、主体的に学習に取り組んでいる。	
評価の場面		定期考査・小テスト 授業中の発言や発表内容 ワークや演習問題での取組 授業内容に基づく技能の実践	定期考査・小テスト 授業中の発言や発表内容 グループワークでの取組 作品の制作や表現	ノート（レポート）の記述 授業中の発言や発表内容 授業態度や取組む姿勢 自己評価や相互評価	